

とねぺ ダム実験の作り方



みんなのおうちでダムの実験ができるよ！ やってみてね！

※(お願い)カッターやキリなどを使ってダムや川を作る時には家の人に手伝ってもらいましょう。ペットボトルの切り口で手を傷つけることがないように、切り口にテープを巻いておきましょう。川の幅やダムの穴の大きさは工夫してみましょう。

◆ダムの作りかた

●プラスチック食品容器の場合

【用意するもの】

- プラスチック容器(100円ショップでも売っています)
- ノコギリ
- キリ
- テープ

①フタごとノコギリで半分に切ります。
※ノコギリを使う時は、ケガをしないように注意してください。



②フタをテープで固定し、フタの角の部分にキリで穴を開けます。
※キリを使う時は、ケガをしないように注意してください。



●ペットボトルの場合

【用意するもの】

- ペットボトル(空になったもの)
- テープ
- カッター
- キリ

①ペットボトルを右の写真のようにカッターで半分に切ります。ケガをしないよう切り口にはテープを巻いてください。
※カッターを使う時は、ケガをしないように注意してください。



②フタのまん中にキリで穴を開けます。
※キリを使う時は、ケガをしないように注意してください。



●牛乳パックの場合

【用意するもの】

- 牛乳パック(空になったもの)
- テープ
- カッター
- キリ

①パックの口にテープを貼って、水が漏れないようにします。



②側面をカッターで切ります。
※カッターを使う時は、ケガをしないように注意してください。



③印の部分にキリで穴を開けます。
※キリを使う時は、ケガをしないように注意してください。



◆川の作りかた

【用意するもの】

- 発砲スチロール2枚(目安は80cm×40cm、厚さ1cm程度)
- ベニヤ板など

- ①1枚の発砲スチロール板をカーブを作りながら切ります。
※今回の実験は、タテ80cm×ヨコ40cm、厚さ1cm程度の発砲スチロールを使用しました。
※発砲スチロールを切る時は、ケガをしないように注意してください。



- ②切り目をずらして川の幅(※2~3cm程度)を作り、もう1枚の発砲スチロール板の上に接着剤やテープでくっつけます。
※発砲スチロールの下にベニヤ板などを敷くと安定します。
※今回の実験では川幅を3cm程度にしました。



◆実験方法

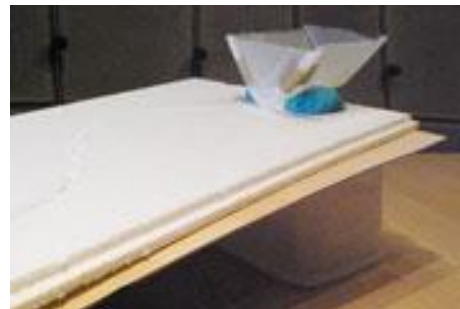
【用意するもの】

- 粘土など
- ジョウロ

- ①上記で作ったダムを発砲スチロール板で作った川のはしに置きます。ダムは倒れないように粘土などで支えます。



- ②ダムを置いた側の発砲スチロール板の下にブロックなどを置いて傾斜をつけます。



- ③ジョウロなどでダムに雨を降らせます。ダムに水が貯まっています。キリで開けた穴から水が少しずつで、川に水が流れます。



④プラスチック容器の蓋をはずす、ペットボトルの底を切り取る、牛乳パックの口を空けるとダムがない川になります。ジョウロなどでダムに雨を降らせます。水が一気に川に流れます。

